

(公財)板橋区体育協会主催大会運営に係る危機管理マニュアル

1 目的

本マニュアルは、(公財)板橋区体育協会(以下、「体協」という。)が主催する大会等における事故の防止対策及び万が一事故等が発生した場合を想定して、事前対策、発生時の応急対策、それに続く事後対策について規定するものとする。

2 対策

(1) 事前対策

体協は、毎年適切な時期に体協加盟団体に対し、危機管理体制の周知徹底を図る。大会等を主管する体協加盟団体は、万が一事故が発生した場合を想定し、大会会場周辺の救急病院を把握しておくこと。また、大会規模や種目に応じて、医師及び看護師、アスレティックトレーナーを配置するものとする。その他必要に応じて、保険の加入及び事前に大会場所の近隣の医療機関に対応依頼等を行い、調整しておくこと。

大会等当日の会場準備については、器材などが風にあおられて倒れたり、飛ばされたりすること等がないよう事故防止には万全を期すとともに、下記の事項について事前によく調べておき、決定しておくこと。

- ① 当日の天気予報(特に大雨や雷雲などについて)
- ② 避難場所・誘導経路の確認(観客を含む)
- ③ 活動中止の決定、連絡フローの決定
- ④ 熱中症予防のためのWBGT(湿球黒球温度)の測定計の用意
- ⑤ 地震や天気予報等の速報を聞くことができるラジオ等の用意

(2) 応急対策

- ① 事故等が発生した場合、大会等主管団体を中心となり応急手当を実施する。
けがの状況を判断し、救急を要する場合119番通報等(救急病院搬送の手配)を行うとともに、速やかに体協へけが人の氏名、状況等を連絡(TEL・FAX・メール)する。
- ② 体協は、状況を把握するとともに、大会等主管団体担当者と連携を取り円滑な対応ができるよう努める。

(3) 事後対策

- ① 大会等主管団体担当者は、傷害事故等報告書【報告様式1】を作成の上、体協へ送付する。
- ② 体協は、状況を把握するとともに、大会等主管団体とともに、誠意をもって事後処理にあたる。体協もしくは大会等主管団体等において、保険金請求手続きがある場合は速やかに保険会社と連絡調整する。

3 警報発令時の対応について

- (1) 大会前日もしくは当日、あらかじめ設定した時点で(当該地区限定の気象情報にて)大雨、洪水、暴風、いずれかの警報が発令されている場合、大会等は中止とする。
- (2) 大会等実施中に警報が発令された場合、屋外競技については参加者を最寄りの安全な場所に避難誘導し、警報が解除されるまで安全確保に努める。屋内競技については、参加者が施設から出ないように対応し、警報が解除されるまで参加者の安全確保に努める。

4 雷への対応について

屋外種目については、事前に気象情報等を確認するなど、雷の発生に細心の注意を払い、落雷事故防止に万全を期すこと。

『落雷防止対策マニュアルについて』

1. 行動の流れ

- ① 雷の察知 (雷光・雷鳴)
- ② 雷の監視 (雷光+雷鳴) ★参考 目視から聴音 10 秒 3.5 km
- ③ 避難行動 (参加者を安全な場所へ避難誘導)



☆入道雲が発達した時や頭上に厚い雲が広がったら、速やかに避難する。
☆入道雲、雷鳴及び雷警報器等から察知、判断し避難行動の対応をする。

≪試合を「停止」「中止」≫

- ④ 試合「再開」あるいは「中止」

「試合再開」

●判断基準→(1)雷鳴・雷光がなくなって 30 分経過

(2)気象庁等関係機関に確認をする

「試合中止」

●判断基準→(1)30 分経過後も間断なく雷光、雷光が続いている場合

→(2)「再開」が可能であっても日没などで試合続行が不能時

→(3)グラウンド、コート等がプレー不可能な状況の時

★再開基準については、日本サッカー協会では雷鳴・雷光がなくなって 20 分としているが、安全を期すため 30 分程度とする。

≪その他≫

★携帯型雷警報器「ストライクアラート R.2.3」を落雷事故防止補助機として対応する

文献 『雷から身を守るには～安全対策 Q&A～改訂版』(日本大気電気学会編、平成

13 年度発行) 別紙<落雷の予兆>に関する参考資料参照

5 熱中症への対応について

『熱中症事故等の防止について』

- (1) 熱中症は、未然に防止できることや、児童・生徒を始めとする参加者の健康や生命に甚大な影響を与えることを、大会等運営者が十分に認識した上で指揮に当たること。
- (2) 大会等参加者に自己の健康管理に十分留意するよう繰り返し注意喚起すること。
- (3) 高温時に大会等を実施する場合においては、試合数・内容・時間・場所等を変更するなど柔軟に対応するとともに、水分補給や休憩を励行し、適切に対策を講じること。

★熱中症予防のための運動指針

WBGT（湿球黒球温度）での運動指針（日本体育協会）

※WBGTとは、人体の熱収支に影響の大きい気温、湿度、輻射熱の3つを取り入れた指標で、乾球温度、湿球温度、黒球温度の値を使って計算します。

WBGT (°C) 31	湿球温 (°C) 27	乾球温 (°C) 35	運動は 原則中止	WBGT31°C以上では、皮膚温度より気温の方が高くなり、体からの熱を逃がることができない。特別の場合以外は運動を中止する。
28	24	31	嚴重注意	熱中症の危険が高いので、激しい運動や持久走などは避ける。体力の低いもの、暑さに慣れていないものは運動を中止。運動する場合は積極的に休息をとり、水分補給を行う。
			警戒	熱中症の危険が増すため、積極的に休息をとり、水分を補給する。激しい運動では30分おきくらいに休息をとる。
25	21	28	注意	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意しながら、運動の合間に積極的に水分を補給する。
21	18	24	ほぼ安全	通常は熱中症の危険が少ないが、水分の補給は必要。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意する。

※WBGT（湿球黒球温度）の算出方法

屋外：WBGT=0.7×湿球温度+0.2×黒球温度+0.1×乾球温度

屋内：WBGT=0.7×湿球温度+0.3×黒球温度

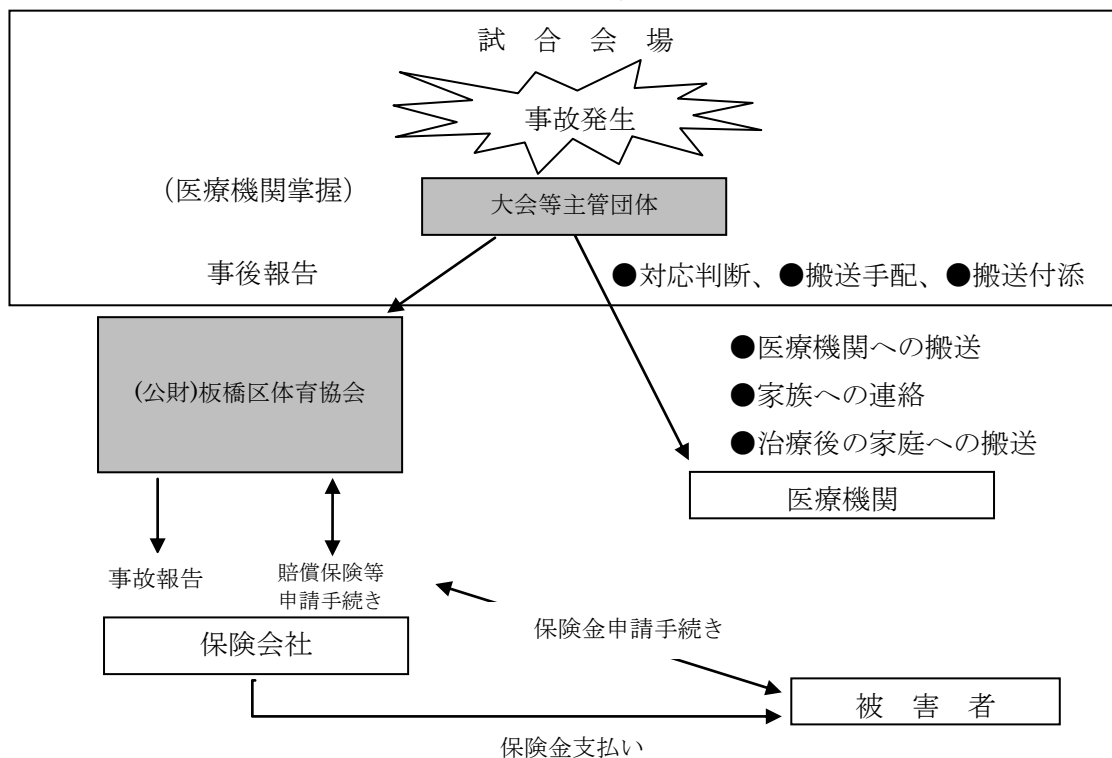
※環境条件の評価はWBGTが望ましい。

※湿球温度は気温が高いと過小評価される場合があり、湿球温度を用いる場合には乾球温度も参考にする。

※乾球温度を用いる場合には、湿度に注意。湿度が高ければ、1ランクきびしい環境条件への注意が必要。

※WBGT近似値を測定して熱中症危険度を表示する「携帯型熱中症計」等の使用を考慮すること。

救急システム関連図



6 その他

(1) 体協加盟団体が主催する大会等について

- ・このマニュアルを準用し、事故等の発生防止等に努めるものとする。
- ・119番通報（救急病院搬送）を行った場合は、速やかに体協へけが人の氏名、状況等を連絡（TEL・FAX・メール）する。

また事故処置後、主催団体担当者は、傷害事故等報告書【報告様式2】を作成の上、体協へ送付する。

(2) 119番通報（救急病院搬送）した場合の体協への連絡先

- ・平日（第二月曜日を除く） 9:00～17:00
体協事務局 TEL 03-5915-5568 FAX 03-5915-1705
メール itabashi-taikyo@cyber.ocn.ne.jp
- ・日祝日、第二月曜日
専務理事 高澤 誠 携帯 090-2169-9627 FAX 03-3969-3307
メール makoto-t1031@m5.gyao.ne.jp

以上

平成25年度「(公財)板橋区体育協会」傷害事故等報告書【様式1】

《対象》 区民体育大会・体協主催大会等

日本興和保険(株)代理店 担当者 岩 渕 圭 介 様 平成 年 月 日

FAX 03-3865-8078

電話 03-3865-8077

(公財)板橋区体育協会 会長 下田 賢司様 連盟・協会名

FAX 03-5915-1705 連絡先・住所

◆ 必ず保険会社と体協に連絡してください。 責任者氏名

◆ 参加者名簿を同時に添付して提出ください。 電話番号

下記の通り傷害事故等があったのでご報告いたします。

1	事故のあった日時	平成 年 月 日 () 時 分頃
2	競技の名称	区民体育大会・少年少女サッカー大会・その他 () 競技
3	競技会場名	
4	負傷者氏名 (所属名) 住所 (連絡先) 電話番号	負傷者の名前(フリガナ): ()
		住所(連絡先)〒
		電話番号 自宅 携帯
		生年月日 T・S・H 年 月 日生 (才)
5	事故等発生の状況	
6	事故後の処置	
		救急病院搬送(119番通報)の有無 有 ・ 無
		病院名 電話
7	傷害等の内容 (傷病名)	骨折 打撲 脱臼 腱断裂 捻挫 切傷
		熱中症
		その他 ()
8	負傷の内容	◇入院見込み 日 ◇通院見込み 日
9	現場確認者名	氏名 電話
10	連絡事項	

◆ 傷害保険等の連絡がありますので負傷者の氏名・住所・電話番号は正確にお書きください。

◆ 報告書は保険会社と体育協会の両方にFAXご連絡お願い致します。

◆ 各競技の参加者名簿の作成を必ずお願い致します。(団体競技は選手登録書可) 添付して提出ください。

◆ 速やかに保険金が支払われる様にするためです。ご協力ください。

◆ 競技団体責任者並びに現場確認者に保険会社から確認の連絡があることがあります。

傷害事故等報告書【様式2】

《対象》加盟団体主催大会等

次の通り傷害事故等で救急病院搬送がありましたので、報告いたします。

平成 年 月 日

大会等の名称

団体名

報告者氏名

連絡先

傷害事故等発生日時	平成 年 月 日 ()
	午前・午後 時 分頃
傷害事故等発生の場所	
傷害事故等の概要	(1) 負傷者 フリガナ 氏名 住所 性別 男・女 (年齢 歳) 連絡先
	(2) 事故等発生の状況 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; min-height: 40px;">..... その他 ()</div>
	(3) 傷害等の内容 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; min-height: 40px;">骨折・打撲・脱臼・腱断裂・捻挫・切傷 熱中症 その他 ()</div>
救急病院搬送	(1) 搬送先 病院 電話番号
	(2) 搬送後の処置 入院・その他()
傷害保険の加入	有 (保険) ・ 無

《報告先》 〒174-0051 東京都板橋区小豆沢3-1-1 小豆沢体育会館内
公益財団法人 板橋区体育協会事務局
TEL 03-5915-5568 FAX 03-5915-1705